

お互いさま ひろお通信

「地域づくりから育つひろおの支え合い」

第 15 号 2020 年 10 月特別号

令和2年度“お互いさまひろお”の  
取り組みをご紹介します

昨年度は暮らしの中にある何気ないつながりや活動に注目しました。これを**地域の宝物**と呼んでいます。地域の宝物の場を訪ね取材をしていると、実は「見守り」や「居場所」等になっていることに気づき、支え合いの基盤になっていることが分かりました。今年度は地域の宝物の視点を大事にしつつも、視野を広げて地域の課題について焦点を当てています。

今年度は「広尾町内でのお買い物」について考えています。

第1回(7月)

「広尾町内での面白い物について課題に感じている部分を整理してみよう」と題し開催しました。主たる意見として

①今は運転できているから良いけど、免許を返納した後、買い物に行けるかが不安という「免許の返納」について

②子どもが遠くにいるからいざというときに誰を頼ればいいのか、子どもに迷惑をかけたくないという気持ちから「頼れる人がいない」について

③日頃からのつながりが大切になると思うから、どのようにつながりを作っていくかといった面から「通いの場」について

の3つが出ました。他の意見については下記の図にもありますが、頼れる人がいない」に関連する部分について「見守り」や「一人暮らしの人の姿が見えなくなると不安」という意見が出ました。



## 第2回(9月)

「課題と感じている部分について、なぜ課題と感じているのか?背景を考えてみよう」と題し開催しました。この会では7月開催時に出了意見を  
見て、改めて感じたことを話し合いました。主たる意見として

## ①「見守り・困りごとに対して何ができるだろうか??」

## ②「手続きが難しい!どうしよう」

## ③「買い物に連れていくには??」

## ④「つながりを育むには??」

この4つが見えてきました。全体の意見は下記の図をご覧ください。

この4つに共通して言えることは毎朝カーテンを開ける事や閲覧板を回すときに声をかけるなど、**日常を大切にしている意見が多かった**ように感じます。一方、個人情報情報の関係を気にしている方、車に人を乗せたとき、事故にあった場合を考えると、なかなか気が進まないという意見も見られました。

## 次回以降の取り組みについて

この2回でみなさんがどこの部分について課題に感じているのかが見えてきたと思います。下記の表をもとに、次回の開催ではどんな取り組みが必要なのか、何ができるのかを考えていきたいと思います。

1年後、10年20年後の地域を見据えて、できる事から始めていきたいと思いますので、みなさんに少しでも関心を持っていただくと嬉しいです。会に参加したいという方がいれば、遠慮なく社会福祉協議会の川原までご連絡をお願い致します。次回は**10月5日(火)14時00分**から**コミュニティセンター大ホール**で開催致します。



## 第2回(9月) 開催時に出了意見

〈作成者〉

生活支援コーディネーター 川原 颯太

電話：2-4110 メール：kawahara@hiroo-shakyo.jp